

## 2019 年度第2回支部集会【四国支部】

主催：公益社団法人日本語教育学会 共催：香川大学教育学部

日時：2019年10月19日(土)13:30-16:30 (受付開始 13:00)

会場：香川大学教育学部 8号館 811 講義室(〒760-8522 高松市幸町 1-1)

キャンパス内マップ ⑭北8号館 ※受付は8号館1階入口付近

詳しくはこちら ☞ [https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/access/campus\\_map.html](https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/access/campus_map.html)

交通アクセス：駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

JR 高德線「高松駅」→「昭和町駅」下車徒歩 10 分

JR 高松駅よりタクシー(約 10 分)、徒歩(約 20 分)、またはバスで。

・まちなかループバス「香川大学教育学部前」下車徒歩 3 分

・弓弦羽行き「JR 高松駅」→「幸町」または「宮脇町」下車徒歩 5 分

・香西車庫行「JR 高松駅」→「宮脇町」下車徒歩 5 分

詳しくはこちら ☞ <http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/access/access.html>

参加費：100 円(当日会場にて現金でお支払いください) ※事前予約は不要です。

問合せ先：公益社団法人日本語教育学会支部活動委員会

E-mail: shibu@nkg.or.jp TEL: 03-3262-4291(平日 9~18 時のみ)

四国支部委員：山下直子(香川大学教育学部)

E-mail: nyamash@ed.kagawa-u.ac.jp TEL: 087-8321411(代)

### 【13:30-13:35】 開会挨拶

### 【13:40-14:40】 現場から発信！四国の日本語教育研究事情 2019

四国各県が現場となっている日本語教育に関する研究を県ごとにブースで紹介します。

ブースを囲んで、ざっくばらんに情報交換をしましょう。

**愛媛** 「国際結婚移住女性のライフステージに合わせた日本語支援とは」

向井留実子(東京大学)

**高知** 「外国人介護職員の受入れをめぐる地方の課題について—高知県のケース—」

佐野由紀子(高知大学)

**徳島** 「地域日本語教室における対話を中心とした活動の試み」

重村美代子(鳴門教育大学大学院生)・鈴木優香(同)・島津亜希(同)・

廣田知子(鳴門教育大学)

**香川** 「多文化共生社会の防災について」

轟木靖子(香川大学)・山下直子(同)



## 【14:55-16:25】 交流ひろば

「交流ひろば」は、日本語教育とその関連領域の話題についての参加者相互の情報共有および同じ興味や問題意識を持つ者同士のネットワーク作りを目的としています。審査を経た学会発表ではありません。「交流ひろば」への出展は、学会員・非会員に限らずどなたでも可能です。

### ① 「筑波大学 日本語・日本事情遠隔教育拠点の紹介」

伊藤秀明(筑波大学)

筑波大学 日本語・日本事情遠隔教育拠点では、日本語教育コンテンツ、評価システムを公開しています。コンテンツの使い方の紹介とともに、現場での活用法や今後の協力などについて一緒に考えていきたいと考えています。興味のある方はぜひお越しください。

### ② 「やさしい日本語を用いた介護専門語彙学習教材」

中川健司(横浜国立大学)

私たちは日本の介護福祉士国家試験を受験する外国人介護従事者に対する学習支援について研究しているグループです。開発中のやさしい日本語を用いた介護専門語彙学習教材をご紹介します。皆様と意見交換をしたいと考えています。介護の日本語の教材や学習支援のあり方などに興味のあるかたはぜひお越しください。

### ③ 「留学生と地域住民との防災活動における実践報告—「防災まちあるき」を通じた相互理解への取り組み—」

石村文恵(立命館アジア太平洋大学)・豊田真規(同)

私たちは災害時の助けになるように留学生と地域住民とが「防災まちあるき」という活動を通し、一緒に防災について考え、お互いを知り、つながりを作る活動をしています。他の地域での取り組みや継続的に参加を促していけるようになるための工夫について、活発な意見交換の場を設けたいです。

### ④ 「副詞「かなり」と「相当」の比較—『現代日本語書き言葉コーパス』(BCCWJ)からわかる使用状況—」

牛尾佳子(今治明德短期大学)

コーパスを使用した副詞の研究をしています。副詞について研究されている方、ぜひご教授いただきたく思います。また、指導方法についても意見交換できれば幸いです。よろしく願いいたします。

### ⑤ 「非漢字圏出身の外国人生活者にとって効果的な漢字学習支援方法とは」

平田史織(元香川大学大学院生)

外国人生活者に対する日本語学習支援について研究を行っております。今回、当事者である外国人に、漢字学習についてのインタビューを行いました。外国人生活者に対する効果的な漢字学習支援について、皆様と一緒に考えることができたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



⑥ 「日本語漢字音読みの学習における中国語ピンインの活用」

張青(香川大学大学院生)

中国語母語話者の学習者は、漢字の読み方が分からなくても、文章の理解にはあまり支障がないですが、上達しても、なお日本語の漢字の読みに苦労していることが多いです。本研究では、日中漢字の読みの対応規則を明瞭にまとめ、日本語の漢字の読みが学習しやすくなるようにしたいです。興味のある方はぜひお越しください。

⑦ 「タイ語母語話者の日本語の発話における韻律的特徴の分析」

神原 周(香川大学大学院生)

タイ語母語話者が日本語を発話する際の韻律的特徴について研究しています。現在はタイ王国内で日本語を学習している学習者の発話を録音したデータの分析などをおこなっています。今回はこれまでの調査の内容や研究の現状を紹介し、皆様からご意見やご提案をいただければと思います。

**【16:25-16:30】 閉会挨拶**

以上

